阿波十郎兵衛屋敷

えびす祭り

2021
1/10 日 10:15～15:00

会場／徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦184
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
入場料／一般410円、高・大310円、小・中200円

商売繁盛、無病息災を願うおめでたい演目ばかり!
今年一年の福をお持ち帰りください。

獅子舞

吉野川市鴨島町の森藤地区に江戸中期から伝わる悪魔祓い、疫病除けの獅子舞。年始めに頭を噛んでもらうと魔除けになると言われます。

傘踊り

獅子舞とともに森藤八幡神社に奉納される雨乞いの踊り。小学生が傘を持って踊ります。

寿二人三番叟

天下泰平、五穀豊穣を祈願し、二人の三番叟がヘトヘトになるまで舞い踊ります。

えびす舞

五穀豊穣、家内安全、商売繁盛、漁の安全と大漁を祈願し、えびす様が大きな鯛を釣り上げます。

福餅の配布
12:00～、14:40～
先着100名様

阿波十郎兵衛屋敷

えびす祭り

徳島では、漁師町においべっさんの人形が大漁祈願に訪れ、お彼岸には農業の神様「地神さん」に三番叟を奉納します。年の初めに箱まわしの人形が福を運び、神社の境内の農村舞台では、鎮守の神様に人形芝居を楽しんでもらうなど、今も人形が地域の人々の信仰を支えています。阿波十郎兵衛屋敷のえびす祭りで、１年の福をお持ち帰りください。

午前の部

10:15～10:30 映像「地域の信仰を支える人形」＋解説
10:30～10:45「寿二人三番叟」（青年座＋とくしま座）
11:00～11:30 定期公演「傾城阿波の鳴門順礼歌の段」（友輔会＋青年座）
11:40～12:00 傘踊り＋獅子舞（森藤獅子舞保存会）
12:00～12:15 福餅の配布

午後の部

13:30～13:45 映像「地域の信仰を支える人形」＋解説
13:45～14:05「夫婦獅子舞」（徳米座）
14:15～14:40「えびす舞」（勝浦座）
14:40～15:00 福餅の配布

※ご入館の際には、必ずマスクの着用、手指の消毒をお願いします。

友輔会

平成13年、故・人間国宝鶴澤友路師匠より拝命した鶴澤友輔師匠を指導者として発足。友輔師匠は、瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」「モラエス恋遍路」の作曲・演奏を手がけるなど精力的に活動している。

阿波人形浄瑠璃研究会　青年座

徳島県立城北高校民芸部出身者が中心となり、昭和56年に結成。“人形浄瑠璃をより親しみのある身近で楽しいものと感じてもらうように、そして自分達も楽しむ”を座のコンセプトとしている。

人形浄瑠璃とくしま座

平成19年の国民文化祭で瀬戸内寂聴原作「モラエス恋遍路」を上演するため公募で結成した人形座を母体に、平成20年４月に発足。元文楽座技芸員の浄瑠璃人形遣い「勘緑」師匠を芸術監督・指導者に迎え、研鑽に励んでいる。

えびす祭り当日限定販売

- ●和田島のちりめん
- ●勝浦町産みかん
- ●松浦酒造「鳴門鯛」
- ●和三盆の干菓子（鯛と俵）

お問合せ／徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦184
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683

森藤獅子舞保存会

森藤地区に古くから伝わる獅子舞及び傘踊り、二十四孝を保存するとともに活用し、末永く後世に伝えて文化の進展に寄与することを目的に活動。毎月第２、第４土日曜日の夜に練習をするほか、毎週月曜日の夕方には、子どもたちを対象に獅子舞クラブも開催している。

徳米座　Tokubeiza,Tokubei Traditional Japanese Puppet Theater

令和元年９月に結成。アメリカ人のマーティン・ホルマン氏が主宰し、徳島に拠点を置く日本の伝統人形芝居の一座。日本語及び英語で、人形芝居の公演やワークショップ、レクチャーを行い、人形浄瑠璃を通じて日本人と外国人の交流を深めている。

勝浦座

寛政年間に発足し、昭和21年より現在の「勝浦座」となる。上演外題は28演目にもおよび、「犬飼農村舞台」をはじめ国内外で上演している。毎年４月の第一大安の日には、和田島漁協で大漁祈願の「えびす舞」を行ったり、お彼岸には農業の神様「地神さん」に三番叟を奉納するなど、地域の信仰を支える阿波の人形浄瑠璃の伝統を最もよく伝えている。